©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所　湯川記念館史料室

37.5.10　京都新聞（朝刊）

京都新聞　昭和37年5月10日　木曜日　14版　(10)

科学者京都会議

〝知性〟勢ぞろい

終幕飾る記者会見

世界の核兵器、軍拡競争の危機打開に、わが国の代表的な〝知性〟を集めた「科学者京都会議」は九日午後、三日間にわたる討議を終えた。

◇…会議最終日の九日午前中は前日に続いて鹿苑寺で開かれ桑原武夫京大教授を座長に、都留重人博士（一橋大教授）が「全面完全軍縮と経済」について報告、この問題をめぐって白熱した論議がかわされた。まず都留氏は現在の軍事費の規模について「いま全世界の軍事費総額は千二百億〟（四十四兆億円）で、世界総生産額の約九割にもあたるが、この七、八〇％までは米ソ、英、中国など七カ国で占められている」と平和から遠ざかりゆく軍事経済について警告した。さらにこれを平和経済へもどすためには軍縮が不可欠であると力説し「全体主義体制のソ連では、軍縮しても経済的破たんは少ないが、自由主義国のアメリカでは軍縮による不況が予測される」として、この打開策を自然改造や都市設計、労働条件の改善、後進国援助などへ積極的に向けるべきことをとくに主張、注目を集めた。

◇…午後からは京大基礎研に会場を移し、三日間のまとめと、京都会議声明の起案にはいったが、閉会予定時刻の四時半が一時間半も越える熱心さに、閉会と同時にタクシーで京都駅へかけつける学者もいた。

◇…この日、出席予定の李政道東大学長は所用のため欠席したが同六時まえに行なわれた記者会見には湯川博士をはじめ十氏がズラリと壇上にならび、真剣な表情でテレビライトやフラッシュを浴びた。湯川氏が全員を代表、詰めかけた百人近い報道関係者を前に静かな口調で会議の目的と経過を説明、このあと大会事務責任者の豊田立教大教授が淡々と原稿用紙十枚にわたる声明文を読み上げたが、湯川博士は「私たちはこの声明を決して他人に押しつけたり、これを機にさらに大規模な組織をつくることも考えてはいない。多方面にわたる活発な意見がかわされることをのぞむだけです」と最後まで科学者らしい冷静さとケンキョさを失わず、記者の質問に答えていた。

訴える〝日本の知性〟。　記者会見する「科学者京都会議」の参加者㊐から田中、島田、谷川、坂田、曼田、湯川、朝永、桑原、三宅、大仏、福島のみなさん（京大基礎物理研究所で）

c092-015-025

昭和37年5月10日

37.

ものがあった。世界が人類が、核実験、核兵器、軍拡競争の危機打開に、わが国の代表的な〝知性〟を集めた「科学者京都会議」は九日午後、三日間にわたる討議を終えた。

◇…会議最終日の九日午前中は前日に続いて鹿苑寺で開かれ桑原武夫京大教授を座長に、都留重人博士（一橋大教授）が「全面完全軍縮と経済」について報告、この問題をめぐって白熱した論議がかわされた。まず都留氏は現在の軍事費の規模について「いま全世界の軍事費総額は千二百億〟（四十四兆億円）で、世界総生産額の約九割にもあたるが、この七、八〇％までは米ソ、英、中国など七カ国で占められている」と平和から遠ざかりゆく軍事経済について警告した。さらにこれを平和経済へもどすためには軍縮が不可欠であると力説し「全体主義体制のソ連では、軍縮しても経済的破たんは少ないが、自由主義国のアメリカでは軍縮による不況が予測される」として、この打開策を自然改造や都市設計、労働条件の改善、後進国援助などへ積極的に向けるべきことをとくに主張、注目を集めた。

◇…午後からは京大基礎研に会場を移し、三日間のまとめと、京都会議声明の起案にはいったが、閉会予定時刻の四時半が一時間半も越える熱心さに、閉会と同時にタクシーで京都駅へかけつける学者もいた。

◇…この日、出席予定の李政道東大学長は所用のため欠席したが同六時まえに行なわれた記者会見には湯川博士をはじめ十氏がズラリと壇上にならび、真剣な表情でテレビライトやフラッシュを浴びた。湯川氏が全員を代表、詰めかけた百人近い報道関係者を前に静かな口調で会議の目的と経過を説明、このあと大会事務責任者の豊田立教大教授が淡々と原稿用紙十枚にわたる声明文を読み上げたが、湯川博士は「私たちはこの声明を決して他人に押しつけたり、これを機にさらに大規模な組織をつくることも考えてはいない。多方面にわたる活発な意見がかわされることをのぞむだけです」と最後まで科学者らしい冷静さとケンキョさを失わず、記者の質問に答えていた。

c092-015-026